

令和元年度 第5回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:令和元年9月24日(火) 13:00~13:20

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

・令和2年度予算編成方針について……………財政課⇒承認

◆審議概要

『令和2年度予算編成方針について』

〈説明者〉西田財政課長、浅野調整主幹、三宅予算担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈小山副市長〉昨年度の予算編成方針に追記等はあるか。

〈三宅担当長〉昨年度からの変更点としては、国の経済状況等の変化に伴い、現状に即した形で修正している点である。ただし、岸和田市行財政再建プランを漏れなく反映させ、着実に取り組むことや、限られた財源の中、「選択と集中」の原則のもと、重点目指す成果を十分意識し、全ての事業について検討することなどについては、昨年度から継承しており、特段大きな変更点はない。

〈土佐副市長〉予算編成方針案の2ページ目「また、引き続き『選択と集中』の観点から事業の効果を厳しく見極め、効果の薄い事業については、廃止も含めた抜本的な見直しを行う」という部分は、毎年記載しているのか。

〈三宅担当長〉昨年度の編成方針を定めていく中で指摘があり、昨年度位置づけしたもの。今年度も引き続き注力すべきとして掲載している。

〈土佐副市長〉実際に各課からの予算要求はそうになっているのか。

〈三宅担当長〉方針の趣旨に沿った要求にさせていただくということで、予算編成説明会でも説明していく。

〈土佐副市長〉予算要求の段階で、現状ベストの状態なのか、変更の余地がないのかといったことを事業担当課と議論してほしい。

〈財政課長〉一定、スクラップアンドビルドが実践されている場面もあるが、そうっていないことが多い。予算ヒアリングなどを通じて、見直しについても求めていくように考えている。

〈土佐副市長〉事業課もスクラップばかり求められるのは厳しいであろうから、スクラップした財源で新規事業を起こすような議論を活発に行うように。また、廃止も含めた抜本的な見直しについては、市長から、副市長に随時相談するよう指示が出ているため、迷うことがあれば早めに相談されたい。各事業課だけの問題ではなく、岸和田市全体の問題として共有していくという考えを持つように。重点目指す成果については積極的に出してもらいたいが、制限はあるか。

〈財政課長〉今のところはないが、安定的な財政運営のために、一定の制限の必要は出てくると考える。

〈土佐副市長〉査定の中で、従来から行っている事業でも、こちらから廃止を提案することも視野に入れるように。大阪府でも廃止できるものは廃止していく方針であり、廃止まではいかずとも実施方法を変えるなど対象となる事業は非常に多いと考える。

〈小山副市長〉一定最初に 10%カットといったようなことは行っていないのか。

〈財 政 課 長〉枠配分について、プラン効果に入っているため、改めて追加することは考えていない。

〈総 務 部 長〉予算要求基準案の歳入に関する事項(2)分担金及び負担金について、昨年から内容の変更はあるか。

〈財 政 課 長〉特にない。

〈総 務 部 長〉先般、行財政改革課から規定が示されたところである。また、歳出に関する事項の(8)負担金、補助金及び交付金についても行財政改革課から適正化基本方針の策定について付議案件としてあがっている。これら関連する方針があるものについては整合性を図られたい。

〈土佐副市長〉歳出に関する事項(4)経常経費について、必要最小限にとどめ安易な増額を認めないこととしているが、多額の不用額が出ることにつながるのではないか。

〈財 政 課 長〉実績や法改正等の動向が十分に読めないものは、一定見込みの水準を定めて予算を組むため、最終的に決算で不用額として出てくることがある。この水準をどの程度にするかということで不用額の発生の多寡が生まれるが、あまり切り込みすぎると逆に補正を要することになる。補正の乱立を避けるという観点から水準を決めている。

〈三宅担当長〉予算要求基準案の歳出に関する事項(1)において、「予算要求にあたっては、要求額について十分精査の上、多額の不用額が生じないように要求すること。」とし、制度上、どうしても不用額が出る場合は、執行することなく留保するよう規定している。事業課がこれを汲んだうえで予算要求することを期待している。

〈総合政策部長〉毎年予算編成に係る説明会の主な対象者は課長と庶務担当だが、実際予算編成を行う際には担当長が中心に行うことが多い。庁内 LAN 等を活用した担当長レベルへ情報共有の手立てを講じられたい。

〈土佐副市長〉担当長だけでなく、全職員に情報共有することを徹底できるように。

〈財 政 課 長〉検討する。

〈教 育 長〉予算編成方針案に記されている再建プランに示された改革の視点4点は順番に番号が振られており、重点目指す成果7点については番号が振られていないが、違いは何か。

〈三宅担当長〉特にどちらも序列はないが、改革の視点について、再建プランの中で振られていた番号をそのまま付記している。記載方法について検討する。

〈小山副市長〉本内容を一部修正のうえ政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和元年9月 17 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和2年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和2年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者	西田財政課長 浅野調整主幹 三宅予算担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和元年度 第5回会議
付議事項	令和2年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	令和2年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

202020201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②計画的に財政運営が行われている
	行政の役割	ア 中長期の視野に立ち、効果的・効率的な財源配分を行う

★現状と課題

令和2年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

					目標値					
	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。